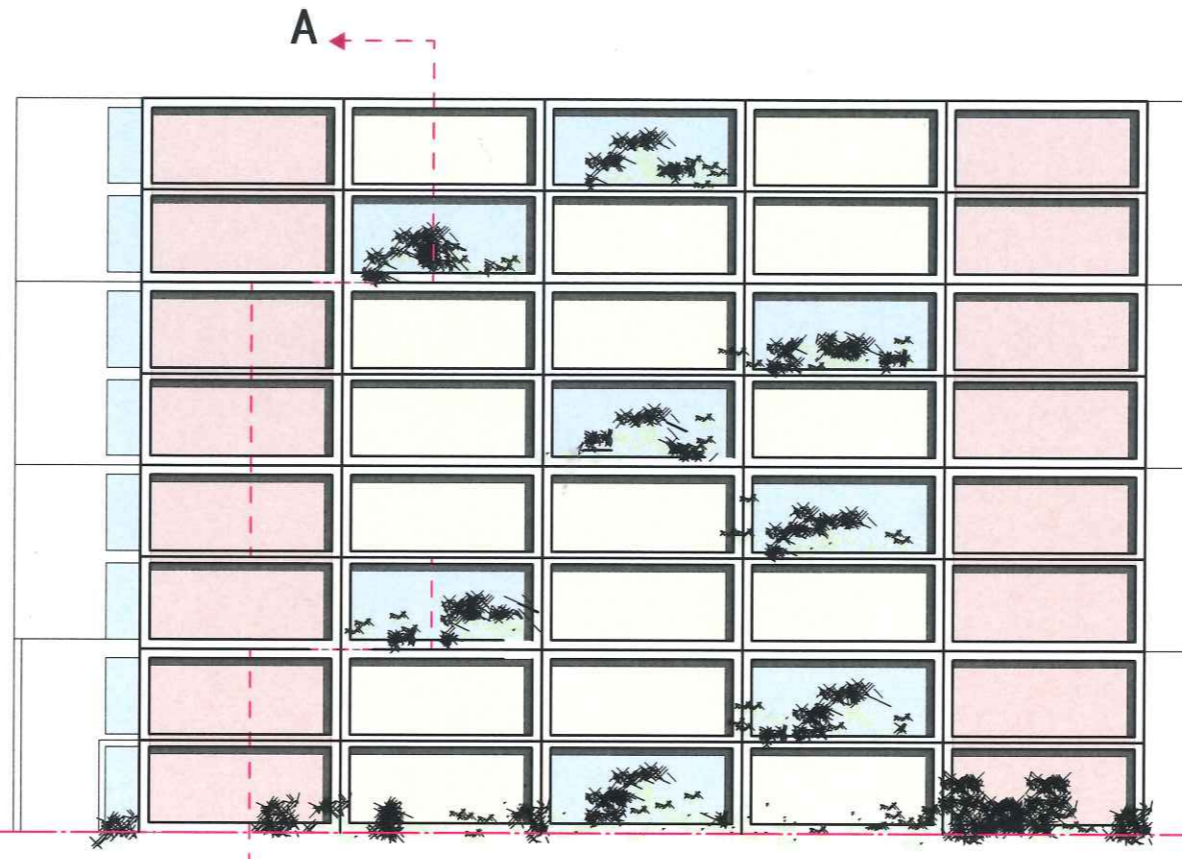


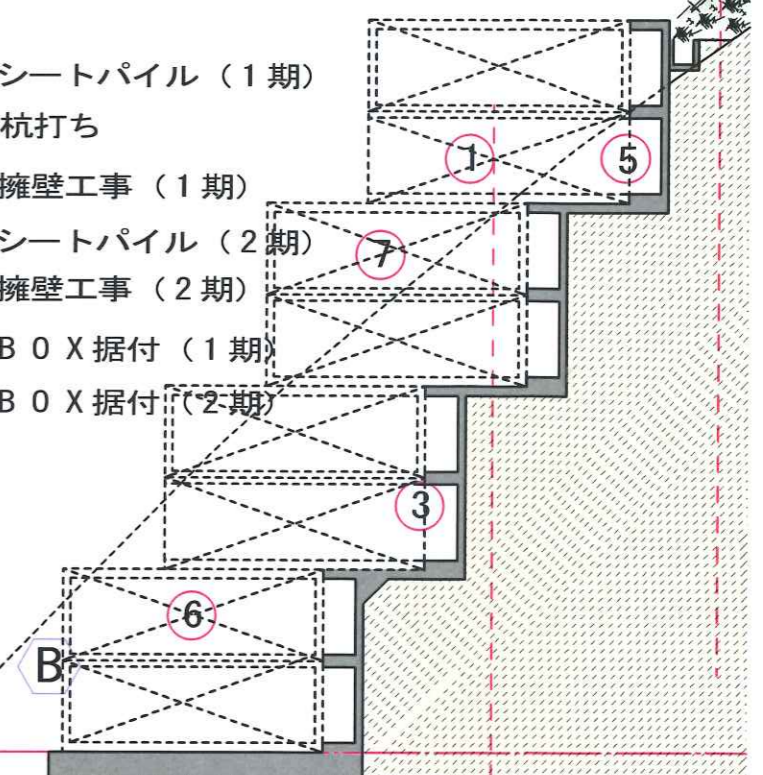
A - A 断面図



立面図

シラスプレコン設置
工法（工期短縮）

- ① シートパイル（1期）
- ② 杭打ち
- ③ 擁壁工事（1期）
- ④ シートパイル（2期）
- ⑤ 擁壁工事（2期）
- ⑥ BOX据付（1期）
- ⑦ BOX据付（2期）



工事工程図

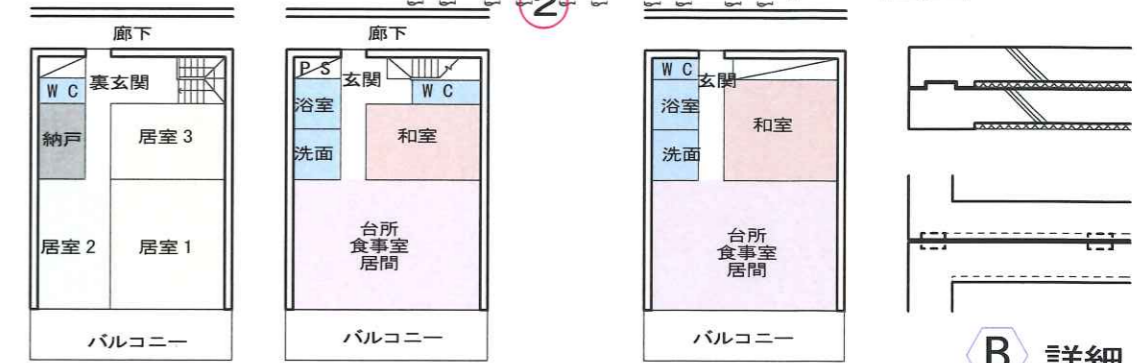


よく見る風景

九州の南部一帯に広がる厚い地層がシラスである。水分の量が増えると著しく強度が低下する。台風はもとより最近の線状降水帯は局地的な大雨をもたらし土石流や川の増水で、甚大な災害を招いている。

従来よりブロック張工やコンクリート張工・法枠工がされてき、その成果は否定できない。この提案はさらに発展させ、景観として建築物を擁壁代わりにし、土地の有効利用やまちづくりを推進しようという考えです。

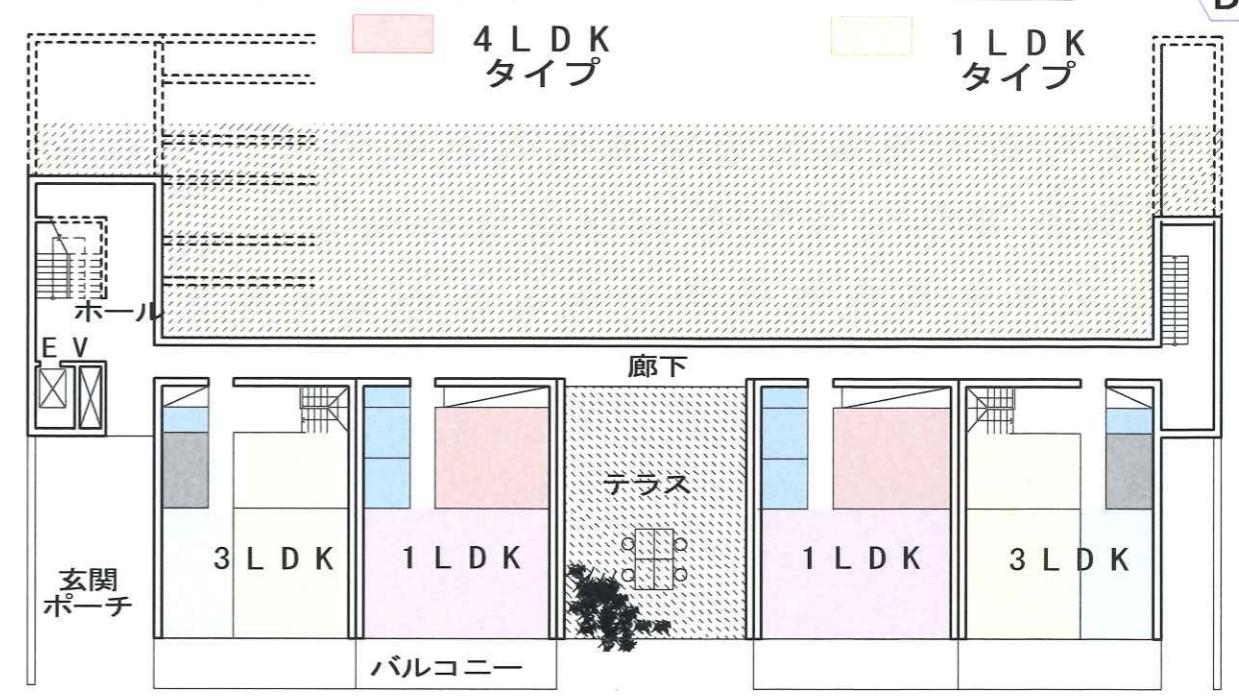
全てコンクリート造で施行した例はこれまでもあるが、コンクリート擁壁を先行し住居部はシラスコンクリート二次製品を積上げる工法だと工期短縮が期待できる。民活で条件さえクリアすれば補助金を一部支給しても良いと思う。



B 詳細



イメージ図



平面図